

情報提供資料

令和4年6月30日(木)

日高市

教育部 生涯学習課 生涯学習担当

Tel042-989-2111 内線 5531

課長 中條 智則

担当者職・氏名 主幹 平井 世一

第31回大学公開講座 日高ライブラリーカレッジを開講します

大学公開講座日高ライブラリーカレッジは、平成2年度に開講し、今年で第31回目となります。昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりましたが、今年度は感染防止に配慮して開講します。

開講当時から現在に至るまで、受講生参加型の公開講座であり、受講生で構成される企画運営委員会が企画・運営を行っている事業です。

今回は、コロナ禍であることから医療現場の最前線でご活躍されている埼玉医科大学総合医療センターの三村医師をはじめ過去の講座の中から「もう一度聴きたい講師」や「新たに聴いてみたい講師」の方々を迎え開講します。

日時 8月27日、9月10日、24日、10月8日、10月22日の土曜日（全5回）

午後1時30分から（※第3回のみ午後2時から）

場所 日高市総合福祉センター「高麗の郷」 研修室（日高市大字楡木210番地）

受講料 2,000円（全5講座）

申し込み 7月11日（月曜日）から8月10日（水曜日）までに、各公民館、市立図書館、生涯学習課にある申請書を記入し直接各施設に申し込むほか、電子申請で申し込みください。

人数 100人（申し込み順）

講師等詳細 別紙のとおり



分科会の様子

第31回 大学公開講座 日高ライブラリーカレッジ

＜学 習 プ ロ グ ラ ム＞ 令和4年8月27日～10月22日

※都合により、学習主題・講師が変更になることもあります。ご了承ください。

| | 日 時 | 主 題 / 会 場 | 学 習 内 容 | 講 師 (敬 称 略) |
|-------------|----------------------------------|---|--|--|
| 第 1 回 | 8月27日 (土) 13:30～ 16:00 | 開講式 (講義開始前) | 人類と感染症の歴史は古く、また従来の感染症は人類が望むと望まざるとにかかわらず社会に変化を促した。本講演では、COVID-19が私たちの社会・医療現場に与えた影響について、3密、感染対策、エビデンス、ワクチンなどコロナ禍で注目された言葉を紡ぎながら振り返り、ウィズ・コロナ時代の見取り図を考えていきたい。 | 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 講師 診療副部長兼教育主任 三村 一行 |
| | | 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 オリエンテーション (講義終了後) | | |
| 第 2 回 | 9月10日 (土) 13:30～ 16:00 | 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 | 近年、生物多様性という言葉がよく聞かれる。生物多様性条約が締結され、国際会議が開催され、生物多様性という言葉はすっかり定着している。様々な生き物があることが健全な地球の生態系にとって大切なことは自明のこのようであるがなぜ、スズメとカラスだけではダメで、トキやコウノトリがいることが必要なのか。いま一度、生物多様性の意味を考えてみたい。 | 立教大学 名誉教授 (野鳥の会 会長) 上田 恵介 |
| 第 3 回 | 9月24日 (土) 14:00～ 16:30 | 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 | 小学2年生の朗読で「運転手さん」が言えなくて「うんてんちゅちゃん」になってしまい、泣き出した私。そんな私がアナウンサーになれるとは！「笑顔は元気のバロメーター」をモットーに、どんなことにも前向きに取り組んできました。涙あり笑いあり、さまざまな人との出会いを通して得たイキイキ生きるコツとは！発声練習をして、声を出す楽しさもお伝えします。心が元気になる講演です。 | フリーアナウンサー 公益財団法人八王子市 学園都市文化ふれあい 財団理事長 村松 真貴子 |
| 第 4 回 | 10月8日 (土) 13:30～ 16:00 | 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 | 住みやすいまちをつくるための場として、様々なコミュニティスペースを紹介します。特に、住民が自分たちで運営する場について、新型コロナウイルス感染症流行前後の取り組みを紹介します。また、郊外住宅地・武蔵台などでコミュニティスペースづくりに取り組む可能性についても考えたいと思います。 | 東京大学 特任講師 後藤 智香子 |
| 第 5 回 | 10月22日 (土) 13:30～ 16:00 | 会場：日高市総合福祉センター「高麗の郷」 閉講式 (講義終了後) | グローバル化の時代にあって、なぜ東アジアの民主主義は後退を余儀なくされているのか。経済発展の著しいこの地域において、なぜ抑圧的な政権が続いていくのか。いま人々は何を求め、何のために闘っているのか。この地域で影響力を強める中国と日本のあり方、関わり方を踏まえながら、人々の側から「アジアの民主主義」を考え、読み解いていきたい。講義時点のウクライナ侵攻についても触れてみたい。 | 早稲田大学 教授 野中 章弘 |